

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	留学生の募集等の実施	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度開始	担当課室	学生・留学生課留学生交流室	学生・留学生課長 松尾 泰樹				
会計区分	一般会計	施策名	XⅢ-1 国際交流の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手の行政官等を我が国に招へいし、日本に対する理解を深めることを通じて、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを創るとともに、政策立案機能の向上に寄与するヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国費外国人留学生制度の一つであるヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)に参加する外国人留学生を募集・選考し、5コース(行政、地方行政、法律、ビジネス、医療行政)を実施する。							
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	29	26	27	27	29	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	29	26	27	27	29	
	執行額		31	25	22			
	執行率(%)		106.9% ※1	96.2%	81.5%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与することのため、定量的な成果目標の設定にはそぐわない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各分野のナショナル・リーダー育成に相応しいYLPコースの実施		活動実績 (当初見込み)	コース	4	5	5 (5)	(5)
	YLPコースの採用人数		活動実績 (当初見込み)	採用人数	65	68	68 (70)	(60)
単位当たり コスト	4,408(千円/コース) 324(千円/人)		算出根拠	平成22年度執行額(22,039千円)/コース数(5コース) 平成22年度執行額(22,039千円)/採用人数(68名)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	20.7百万円	22.3百万円					
	庁費	5.5百万円	5.5百万円					
	謝金	0.8百万円	0.7百万円					
計	27百万円	29百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・実施大学の公務と重なり負担が減少したこと及び対象国が減少したことにより、決算不用が生じている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手行政官を毎年70名程度招へいし、我が国の大学が提供する5つのコースを受講することで、我が国とアジア諸国等の人的・知的ネットワークの形成に役立っている。 ・しかしながら、現地でのリクルートや選考試験に伴う旅費支給に時間を要していることが課題であり、速やかな旅費手続き・支出に努めることが必要である。 ・経費の執行に関しては、執行一覧を作成し、謝金、旅費、庁費の使途に応じて支出先・使途を適切に把握している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		1. 事業評価の観点：この事業は、アジア諸国の若手行政官等を我が国に招聘し、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを形成する事業であり、予算執行の状況の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、所掌する行政事務（ヤング・リーダーズ・プログラムの募集・選考経費など）を推進するために必要な経費であるが、平成22年度において予算に不用が生じており、今後、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算の見直しを図るべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
これまでの執行実績を踏まえ、会議の開催回数を見直すこと等により縮減を図り、概算要求に▲1百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※1（項）国際交流・協力推進費の同一目内で流用を行い執行した。			
【参考ホームページ】 ヤング・リーダーズ・プログラムURL：http://www.mext.go.jp/english/highered/1304786.htm			

A.文部科学省
22百万円

旅費
庁費
謝金

17百万円
4百万円
1百万円

（ヤング・リーダーズ・プログラムを実施するにあたり、募集要項の印刷等、現地選考試験、有識者による推進協議会の開催等を実施する。）

（注）本事業において百万円を超える契約はない。

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載)

A.文部科学省			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	教員派遣旅費	17			
印刷製本費等	募集要項印刷等	4			
謝金	推進協議会委員謝金	1			
計		22	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0